

KiKiの広場

2012年 6月 1日

cafe NO.20
KiKi



木陰が嬉しい季節になりましたが、その木々の中では鳥たちがとってもにぎやかです。この春はメジロの姿を殆ど見ることがなく、何かあったのかと心配しました。ただ他の鳥たちにとって、今は恋の季節なのでしょう、ウグイス・ハクセキレイ・スズメ・シジュウカラ・ヒヨ・ヤマ（キジ）バトなどが、元気いっぱい鳴いています。うまく相性のいい相手を見つけて、楽しい家庭を築いてほしいですね。（笑）

また、先月登場した夏季限定の新メニュー「黒豆炭酸ジュース」が好評です。なので、夏季限定ではなくメニューの中に入れることになりました。どうぞ引き続き、爽やかな味をお楽しみください。

6月の予定

1 2 日 (火)	休館日
-----------	-----



「今月のケーキ」…「ダブルベリーパイ」 300円



ブルーベリーとクランベリーの甘酸っぱさと、パイ生地、クッキー生地の香ばしさを、アーモンドクリームのコクが調和したおすすめの一品です。



今月のお気に入り…「雨の日は楽しくなる絵本」

～ 「雨、あめ」「ふるやのもり」「ピーターのおかみ」「もくもくやかん」「おじさんのかさ」などなど ～



小学生の頃、雨降りの帰り道わざと傘をささずに濡れて帰るのが好きでした。友だちと水たまりの中に入って長靴をぐちょぐちょに濡らしては、よく叱られていました。「雨、あめ」は、そんな気持ちがよみがえってくるような、雨の日の楽しさ美しさが生き生きと描かれている言葉のない絵本です。

「ふるやのもり」は、おじいさんとおばあさんの家に忍び込んだ馬どろぼうとおおかみが、おじいさんとおばあさんの「この世で一番怖いものは『ふるやのもり』だ。」という会話に震え上がって勘違いの暴走を始める、とっても愉快な昔話です。さて、『ふるやのもり』とは、いったい？猿の顔が赤いわけもなぜかわかっちゃいます。

今月の本棚…「片山健の世界」

～「きつねのテスト」「とんとんとんとん」「むかしむかし」「もいのおぼけ」「わたしがおひさまだったら」などなど～

決してかわいくなくて、でも迫力があって味わい深く憎めない片山健さんの絵とお話、「タンゲくん」がお気に入りの KiKi スタッフ Y ちゃんのリクエストです。「きつねのテスト」は、きつねが女の子に二択問題を出すのですが、いったいなんなんだというような正解が待っています。奇想天外なお話に片山さんの絵がみごとにマッチして、最後はどうなるんだろうとぐいぐい惹きこまれます。「とんとん とんとん」は、究極の子ども像かもしれません。長男との生活から生まれたそうですが、この頃の子どもが持つはちゃめちゃなパワー・・・特に新米ママにとっては、思わずうなづいてしまう絵本ではないでしょうか。

谷川俊太郎さんとの初めての共作絵本「むかしむかし」は、美しく力強い詩と絵に、遠い記憶を呼び起こされるような深さを感じました。どちらかと言うと大人に読んでほしい本です。



ほっとフライク

家族と共にやって来た I くんという 2～3 歳くらいの男の子、私を見て突然、「お母さんなの？」と聞きました。間違いではないので、「そうよ。」と答えると、それから私に話しかける時、「ねえ、お母さん」と言われました。「ギャロップ!!」という絵が動くしかけ絵本を見せると、とても気に入ったようで、テーブル席から 1 人カウンター席にやってきて、私に見せながら読みました。途中からなぜか私の呼び名は「ママさん」に変わりました。「ママさん、次の本は？」と聞かれ、「次の本はまだ置いてないのよ。」と言うと、「じゃ、今度買っちゃってね。」とお願いされました。なんともかわいらしい I くんと言いに、その場にいた人みんな、大爆笑でした。(*^_^*)